

押して開ける

第2類医薬品

救風葛根湯内服液(漢方製剤)

服用に際しては、この説明文を必ずお読みください。必要なときに読めるように、大切に保管してください。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります) 短期間の服用にとどめ、連用しないでください。



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談してください(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦または妊娠していると思われる人。(3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。(4) 胃腸の弱い人。(5) 発汗傾向の著しい人。(6) 高齢者。(7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみなどを起こしたことがある人。(8) 次の症状のある人。むくみ、排尿困難(9) 次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる。

3. 5~6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

効能・効果 かぜの初期の諸症状(発熱、寒け、頭痛、肩・首筋のこわばり、鼻閉、鼻水、のどの痛み)

用法・用量 次の量を朝夕、食前または食間※によく振ってから服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	1本	2回
15才未満	服用しないでください。	

※食間とは食事と食事の間で、前の食事から2~3時間後のことです。

<用法・用量に関連する注意>(1)用法・用量を厳守してください。(2)本剤は本質的に沈殿を含んでいますので、服用前によく振ってから服用してください。

成分・分量 1日量90mL(45mL×2本)中 葛根湯抽出エキス(下記生薬の水製抽出液)54mL

日局カ ッ コン…8.0g	日局マ オ ウ…4.0g
日局タ イ ソ ウ…4.0g	日局ケ イ ヒ…3.0g
日局シャクヤク…3.0g	日局カンゾウ…2.0g
日局ショウキョウ…1.0g	

添加物：D-ソルビトール、白糖、安息香酸Na、パラベン、香料(エタノール、エチルバニリン、グリセリン、バニリン、プロピレングリコール)

保管および取扱い上の注意 (1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2)小児の手のとどかない所に保管してください。(3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4)配置期限(箱およびピンラベルに記載)を過ぎた製品は服用しないでください。(5)ピンをあげたら飲みきってください。(6)ピンをあげたまま保存しないでください。

発売元 常盤薬品工業株式会社

神戸市中央区港島中町6-13-1

NOEVIR GROUP

製造販売元 新生薬品工業株式会社

奈良県高市郡高取町清水谷1269

お問い合わせは

常盤薬品工業株式会社

お客さま相談室0120-875-710まで

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度

0120-149-931